

奄美大島・喜界島農業の動き

■令和7年7月

1 瀬戸内町で肉用牛における暑熱対策研修会を実施！

6月25日、瀬戸内町請阿室の重点農家牛舎で瀬戸内町技術連絡協議会畜産部会による暑熱対策研修会が開催され、生産者4名、関係機関5名が参加しました。農政普及課では、暑熱ストレスによる生産性への影響や暑さ対策のポイント、熱中症による農作業事故防止について情報提供を行いました。また、畜舎内の温度上昇の抑制効果が期待できるとして、牛舎屋根にドロマイト石灰を塗布しました。猛暑による生産性低下を防ぐためにも、今後も農家・関係機関と連携しながら、暑熱対策を実践していきます。



暑熱対策に関する情報提供



牛舎屋根への石灰塗布

2 喜界島の畑かん事業でアクションプログラム策定を決定

7月1日、喜界町役場で喜界島地区かんがい排水事業推進協議会の総会が開催されました。喜界島では新たな農業用水源として第2地下ダムを建設中であり、令和24年度を目標とした営農ビジョンが策定されていましたが、中期ビジョンが策定されていませんでした。そこで、営農ビジョンの目標を達成するための具体的な動きをまとめたアクションプログラムを策定することが、総会で承認されました。今後、5つの専門部会毎に、畑かん事業を推進していくための5年間の活動計画、目標を策定していきます。

3 盛会！奄美農業を語る会

7月9日、奄美市で農政部長、農政課長、経営技術課長をむかえて、県農業経営者クラブ大島支部主催の「奄美農業を語る会」が開催されました。参加者は、奄美群島内のクラブ員10人を始めとする農業者22人を含め、総勢50人で、3カ所の現地検討と事例発表及びパネルディスカッションによる室内検討を行いました。室内検討では、稼ぐ力の発揮をテーマに議論がなされ、それぞれの課題や考え方を共有する場となりました。農政普及課では、今後もクラブの活発な活動が展開されるよう支援していきます。



現地検討の様子 県農業経営者クラブ大島支部長の農園にて

4 令和7年度第1回奄美地域畜産若手生産者研修会を開催！

7月10日、奄美家畜市場で「奄美地域畜産若手生産者研修会」を開催し、新規就農者・関係機関合わせて15名が参加しました。室内研修では、暑熱対策や異常産等の疾病予防、技術診断チェックリストの活用について講義を行い、現地視察では、笠利町の先輩農家の牛舎を訪問し、経営発展までの道のり、飼養管理におけるポイントについて話を聞きました。研修中は、積極的に質問したり、牛舎を熱心に観察する姿が見られました。今後も、新規就農者の技術・知識の向上及び交流を深める場を設けていきます。



室内研修の様子



現地視察の様子

5 地域計画を活用して喜界町川嶺集落の農地集積の方向性が決まる

7月14日、地域計画の重点支援対象である喜界町川嶺集落で「川嶺集落の農地について語る会」が開催され、集落内のさとうきび大規模農家2戸に農地を預けていく方針が決まりました。さとうきび農家への営農意向に関するアンケート実施や、語る会を開催する前の重点農家等への事前説明等により、農地集積の方針に対する異論はありませんでした。今後も農政普及課では、大規模農家への農地集積や、大規模農家間の農地交換による農地集約が円滑に進むよう、話し合い活動を支援していきます。



川嶺集落の農地について語る会の様子

6 令和7年度農業基礎講座を開講！農業経営について学ぶ

7月16日、奄美市農業研究センターにおいて、新規就農者や就農支援センター研修生等を対象とした『農業基礎講座』を開講し、8名が参加しました。第1回目は「農業経営」として、指導農業士会長による「ゆとりある経営発展に向けた取組」の講話に続き、普及指導員による「農業経営の基礎」として、経営者の役割と能力、営農設計、ライフプラン作成について講義を行い、多くの意見交換ができました。今年度は10月までに、果樹、野菜、病虫害防除等の8分野を5日間で行う計画です。



指導農業士会長による講話

7 北大島ハーベスタ連絡協議会で収穫コスト試算の検討・分析を提案

7月18日、笠利農村環境改善センターで北大島ハーベスタ連絡協議会総会が開催されました。収穫作業を受託するハーベスタ組織は、燃料代等の高騰など外部環境が変化する中、今後も継続的・安定的に営農を行っていく必要があります。そこで、喜界町の収穫コスト試算によるコスト低減に向けた取組を紹介・提案し、北大島でもハーベスタ組織と共にコスト試算結果を検討・分析することが決まりました。これからも、ハーベスタ組織の安定した運営に向け、収穫コストの理解促進を図っていきます。